

令和7年度 学校評価のまとめ

<得点> 次の1～20の項目について、次の段階で評価した。【そう思う：5点 ややそう思う：4点 あまりそう思わない：3点 そう思わない 2点】  
 <評価> A：4.0以上 達成している B：3.5～3.9 概ね達成している C：3.0～3.4 あまり達成していない D：～2.9 達成していない

<I 学校全体>					現状分析		改善策及び今後の取り組み		学校評価委員（学校評議員）からのコメント					
属性	R7平均	R7評価	R6平均	R6評価										
1 生徒は本校に入学してよかったと思っている。	生1	4.1	A	4.1	A	<p>○いずれの設問も、生徒からの評価が低く、特に設問6から、学校の教育目標や指導方針について生徒に伝わっていないということがうかがえる。そのことが、設問2や3の生徒の自信や目標、誇りの喪失感に結びついているのではないかと思う。</p> <p>○龍野高校に対する保護者の期待は大きい。</p> <p>○保護者の評価が高い。生徒が家庭で学校の不満を言っていないと考えられる。また学年通信やスクリレなどでのごまめな情報発信による安心感も大きいと考えられる。</p> <p>○教師側の考えが明確に伝わっていないことが、「龍高生」としての誇りの欠如や目的意識の低下に影響していると考えられる。</p> <p>○アンケートの結果では、教師、保護者の認識と生徒の実情にずれがある。消去法的な学校選択や複数志願制が原因だと思われる。</p> <p>○学年が上がるにつれて、学校への満足度が低下している。</p> <p>○「学校は家庭への連絡や情報提供を積極的にしている」という点において、本年度からスクリレを導入し、充実した連絡をしていると感じている。</p> <p>○5の生徒評価が低い。教室室内でのネット環境の悪さなども要因の1つであるかと思われる。</p> <p>○設備面では、タブレット使用環境が整っていない等の実感があると思われる。</p> <p>○生徒の数値が低い。</p> <p>○生徒の学力低下に伴い従来までと異なり明確に進路目標を持っていない生徒の層が増えた。</p> <p>○教育目標や指導方針を意識できていない。</p> <p>○教師側の考えが明確に伝わっていないことが、「龍高生」としての誇りの欠如や目的意識の低下に影響していると考えられる。</p>	○生徒の学力の幅が広がり、「文武両道」のスローガンと実態との乖離や負担感を感じている生徒が増えている。		○保護者の評価は高いが、生徒の評価が低いことに着目して、改善策を探る必要がある。		○2年生で評価が下がる理由について検討すべきだ。		○生徒に自信をつけさせることが大事である。	
	保1	4.5	A	4.5	A		○生徒一人ひとりが目標を持つことについては、1年次より3年間を見通した各自の進路ストーリーを描かせる指導が必要だと考える。		○行事やボランティア活動等を通じて、経験を充実させるのがよい。		○探究活動や発表機会、また、地域イベントへの参加を通して、自己肯定感の向上を図るのがよい。			
	教1	4.3	A↑	4.2	A		○生徒にとって答えにくい問いだと思いが、折りに触れ、伝統ある龍野高校の生徒だということに気付かせる場面を作る。		○保護者が龍野に求める実情を聞き、それを充実させる。		○「文武両道」のスローガンは素晴らしいが、負担感を感じている生徒がいるのなら、無理強いせず、それらの生徒に寄り添うことも大事である。			
2 生徒は「龍高生」であることに自信と誇りを持っている。	生2	3.8	B	3.8	B		○日々の教育活動の中で生徒の満足度や愛校心を向上していく。		○学習についていけない生徒が増えてくるのが一番大きな原因であろうと考えられるので、そこへの手当が必要である。また、今後、更に幅広い学力層の生徒の入学が予想されるので、カリキュラムの改善などの学校全体での取り組みが必要である。					
	保2	4.2	A	4.2	A									
3 生徒は自分の目標や目的意識を持って学校生活を送っている。	教2	4.0	A	4.0	A									
	生3	4.0	A↓	4.1	A									
	保3	4.2	A	4.2	A									
4 学校は家庭への連絡や情報提供を積極的にしている。	教3	4.2	A↑	4.1	A									
	生4	4.1	A↓	4.2	A						○家庭向け連絡アプリ「スクリレ」が導入されたことで、保護者は助かっていると思う。			
	保4	4.1	A	4.1	A									
5 本校の教育環境（施設・設備面）は充実している。	教4	4.6	A↓	4.7	A									
	生5	3.8	B	3.8	B		○本校独自では難しいが県全体にネット環境の再整備等を要望する必要がある。		○タブレットがもっと使いやすい環境を整備する。		○タブレット端末の活用を推進すべきである。小学校・中学校では、もっと活用が進んでいるのではないか。			
	保5	4.0	A↑	3.9	B		○教育環境についてはどの点に不満を持っているのか調査を行う必要がある。		○環境整備を進め、生徒支援を行うことで、生徒と教職員との意識の差が埋まるのではないか。					
6 学校は目指している教育目標や指導方針をきちんと説明している。	教5	4.1	A	4.1	A									
	生6	3.6	B↓	3.7	B		○さまざまな場面で目指している目標を生徒に説明する場面を設ける。		○教育目標や指導方針を日頃からどこかに示す、口頭で繰り返す（学年通信など）。		○教師側の考えが十分に伝わっていない。常日頃から生徒たちに伝えることが必要である。			
	保6	4.2	A↑	4.1	A		○さまざまな場面で生徒に説明するようにし、理解を促す。		○学年集会や学年通信を通じて、教師側の思いを明確に生徒に発信し、理解してもらえようにつとめる必要がある。		○教育目標の可視化が有効である。			
教6	4.4	A↓	4.5	A			○教育目標に関してはスローガンとして常に目に触れるように掲げるなどの工夫が考えられる。							

<II 授業・進路指導>		属性	R7 平均	R7 評価	R6 平均	R6 評価	現状分析	改善策及び今後の取り組み	学校評価委員（学校評議員）からのコメント
7	分かりやすい授業に努めている。	生7	3.8	B ↓	3.9	B	<p>○先を見通した進路指導よりも、生徒は日々の授業を意識している。</p> <p>○授業に関して、教員の思いや努力が生徒に伝わらず、約3割の生徒がわかりにくさを感じていることが読み取れる。</p> <p>○教職員が高いのに対し、生徒の数値がかなり低い。</p> <p>○授業に対しての結果が思わしくない。</p> <p>○生徒の学力層が広がったことや、またそれに伴う進路の多様化によるところが大きいと考えられる。</p> <p>○姫路学区と競合する中で自信を持ちきれない生徒もいくらかいる。</p> <p>○生徒の学力差が大きいためどうしても上位者・下位者の不満が出やすい。教員数を確保できないため、一部の授業で習熟度授業を解消したことも影響したか。</p> <p>○学力のゾーンが縦に拡大し、どの学力層をターゲットにしているかが明確になっていない可能性もある。</p> <p>○全般的に、教師と生徒や保護者との間に非常に大きな隔りがある。授業に関して、教員の思いや工夫がうまく生徒に伝わっていないといえる。また、生徒の学力差が大きいために一因とも考えられる。</p> <p>○受験を意識すると必然的に難易度は上がり、全員が分かる授業を目指すことで進路が気になる。日々生徒の様子を見ながら試行錯誤を繰り返しているのが現状である。</p> <p>○教師、生徒とも授業に対して納得がいかない状況が増えている。</p>	<p>○理解度の低い生徒に対しては、質問会等を実施して支援することが望ましい。</p> <p>○課題の指示について、告知が遅いという不満を生徒から聞いている。内容を可能な限り早期に提示し、計画的に取り組めるように配慮する必要がある。</p> <p>○学力の高い生徒に対しては、面談を行って目標を意識させ、必要に応じて個別に指導することが望ましい。</p> <p>○さまざまな学力層の生徒が在籍している一方、到達目標は高く設定せざるを得ない中、授業内容や授業展開については引き続き改善策を探らなければならない。</p> <p>○「私立文系型」を作ってもいいのではないか。</p> <p>○全員が国公立大ではなく選択科目の多様化や私文クラスの設置などカリキュラムの抜本的な見直しが必要な時期に来ている。</p> <p>○上位者・下位者ともに、個別に声をかける、質問をさせる、レベル別の課題を与える等の工夫ができるか。</p> <p>○さまざまな学力層の生徒が在籍していることを踏まえ、授業内容や展開を改善する。</p> <p>○少人数指導は教員数の現状から困難になりつつあるが、学力別の授業実施などは行う必要がある。</p> <p>○生徒の授業に対する評価をもとに授業改善を行っていく。</p> <p>○習熟度別の授業などを工夫して行ってい、できるだけ個々の学力に応じた指導を行っていく必要がある。また、高学力層をさらに厚くするために生徒が自走できるようにする。</p> <p>○力のある生徒が自走できる仕組みを考える。</p>	<p>○授業改善は大切である。</p> <p>○わかりやすい授業の工夫と教員の人間性（ユーモアなど）を活かすべきである。</p> <p>○1つの学校で多様化に対応するのは困難な作業だが、どのような対応ができるか考えることが大事だ。</p> <p>○生徒の意見を聞き、指導に活かしてもらいたい。</p>
		保7	4.0	A	4.0	A			
		教7	4.6	A ↓	4.8	A			
8	学力向上のために補習や補講などきめ細やかな指導をしている。	生8	3.9	B	3.9	B			
		保8	4.1	A ↑	4.0	A			
		教8	4.7	A ↓	4.8	A			
9	学習面において生徒の理解度を考慮した指導を行っている。	生9	3.9	B ↑	3.8	B			
		保9	3.9	B	3.9	B			
		教9	4.5	A ↓	4.6	A			
10	学校の進路指導は充実している。	生10	4.1	A	4.1	A			
		保10	4.0	A	4.0	A			
		教10	4.6	A ↓	4.7	A			
11	学校の教育課程（カリキュラム）は生徒の進路実現や適性を十分に考えている。	生11	4.2	A	4.2	A			
		保11	4.1	A ↑	4.0	A			
		教11	4.2	A	4.2	A			
12	生徒の理解を深めるために、授業の改善を行っている。	生12	4.0	A	4.0	A			
		教12	4.6	A ↓	4.7	A			

<III 生活指導・特別活動>		属性	R7 平均	R7 評価	R6 平均	R6 評価	現状分析	改善策及び今後の取り組み	学校評価委員（学校評議員）からのコメント
13	心身の健康を維持するための支援（生徒面接・カウンセリング）等をしている。	教13	4.0	A	4.0	A	○保健室来室や欠席状況等気になる生徒に関しては学年と情報交換を行い、早期対応に努めている。必要時は、カウンセラーから指導助言を受け対応に活かしている。 ○気になる生徒には早めに声を掛け面談を行うとともに、必要であればキャンパスカウンセリングなどを勧めている。	○各学年との連携を密に行い、個別対応の実施とともに全体指導として2学年のHR活動においてストレスマネジメントの内容でカウンセラー講話を実施する。 ○現在の取り組みを継続し、早急に生徒の変化に気づき、対応できる環境を整える。 ○生徒との面談を密にしていこうと、生徒理解に更に力を入れていきたい。	○担任や学年団の教員以外にも、誰にでも相談できる環境を工夫してもらいたい。 ○生徒たちへのケアが行き届いている結果がうかがえる。保護者の方々にも信頼を得ている。
		生13	4.1	A ↑	4.0	A			
		保13	4.8	A ↑	4.7	A			
14	本校は、個人情報保護し、人権に配慮した教育を行っている。	教14	4.2	A ↑	4.1	A	○年間4時間の人権LHRの時間（3年は3時間）を確保している。結果として、HRでの授業の機会は少なくなっている。 ○人権LHRを実施するとともに、学校生活全般を通じて人権に配慮しながら指導を行っている。	○年度当初に、各教科における人権課題を含む単元について調査し、授業担当者に教科指導において人権教育も意識して指導するように依頼する。 ○現在の取り組みを継続し、人権について考える機会を設ける。	
		生14	4.3	A ↑	4.2	A			
		保14	4.6	A ↓	4.7	A			
15	本校は防災や生徒の健康・安全に配慮している。	教15	4.2	A	4.2	A	○生徒・保護者とも8割5分以上が配慮していると回答している。 ○教室の換気については適宜声かけを行っている。	○防災においては、消防設備が正常に機能するよう点検・補修が必要である。健康・安全への配慮は、16の設問と連動し、行事内容の見直しの必要性を感じる。 ○消防設備が誤作動を起こさないように、定期的な点検が必要である。また、引き続き心肺蘇生講習会を行う。 ○感染予防の徹底を図る。 ○生徒の意識にインパクトが与えられるような指導ができるよう企画していく。	○安全や健康管理がしっかりしていることがうかがえる。
		生15	4.2	A ↑	4.1	A			
		保15	4.7	A ↑	4.6	A			
16	本校の学校行事は適切な内容で充実している。	教16	3.8	B	3.8	B	○生徒の不満が最も大きく、約3割の生徒が不満を感じている。教員との評価の差が大きく、認識のずれが目立つ。生徒の三分の一が充実していると感じていないことは問題であり、見直しが必要である。 ○生徒と保護者・教員との差が大きい。生徒指導部の努力で、ここ数年でかなり改善はされてきてはいる。しかし生徒は文化祭、体育大会などでもう少し自由度の高いものを希望していると思われる。 ○行事について、生徒のどんな不満があるのか知りたい。SSH研修・シアトルなど、魅力的な行事への参加が普通科にも可能であるはず。休日に行事が多まっているのは気になる。 ○昨年度同様、月によっては行事過多もあるが、生徒の良さを引き出す活動をしている。	○マラソン大会の実施、修学旅行の内容等も検討する必要があると感じる。 ○学校行事の精選・内容の改善等を考える。 ○球技大会を増やして、マラソン大会をなくすなどしてもいいのではないかと感じる。 ○現時点でも十分と思われるが、評価を上げる場合はもう少し生徒主体で自由度の高いものを検討することも考えられる。 ○行事が多ければ職員負担も大きい。減った人数でできる行事にますます変えていく必要がある。 ○全員が満足する行事の設定は難しいが、どの行事で満足していないのか、なぜ満足できないのか、細かくヒアリングし、問題点を見直す必要がある。また、同時に行事の精選も必要である。	○生徒会が中心となった行事の持ち方が、生徒の力を大きく発揮させる。生徒の満足感にもつながる。 ○現状に合わせた行事に変えていくことも必要である。 ○球技大会も保護者が参観できればよいと思う。
		生16	4.3	A ↑	4.2	A			
		保16	4.3	A ↓	4.4	A			
17	生徒一人ひとりを大切にしたい生徒指導を行っている。	教17	4.0	A	4.0	A	○生徒、保護者ともに評価が上昇している。生徒会執行部の活躍している様子が、他の生徒たちのみならず、保護者にも理解されている。	○生徒会執行部だけでなく、多くの生徒が生徒会の一員であることの自覚を持ち、積極的に運営に関わる仕組み作りが必要である。	○生徒以上に保護者の方々の評価が高い。 ○何事も「指導」から「支援」へ移行することが大事である。生徒の自主性も培われる。
		生17	4.1	A ↑	4.0	A			
		保17	4.6	A	4.6	A			
18	本校の生徒会活動は生徒が自主的主体的に運営している。	教18	4.1	A	4.1	A	○どの項目も高評価であり、充実していると捉えられている。 ○部の種類が多く、全国大会等の活躍も多いので満足度が高いか。 ○部活動や課外活動などは教員、生徒、保護者とも意義のあるものだと感じている。 ○高い評価を得ており、今後も充実した内容で継続して取り組んでいくことが求められる。 ○部活動の選択肢の数が多いため、教員の負担はあるが、生徒の満足度は高い。ただし、保護者にとっては、部活動と勉強の両立に関して心配があるのではないと思われる。 ○入学時より部活動入部をはじめ、何でも挑戦してみようという声かけを行ってきた。非常に多くの生徒が部活動に入部し、豊かな人間関係を築いている。 ○生徒、教師ともに評価が高い。生徒会執行部の活躍している様子が、他の生徒たちにもよく見えている証左である。	○継続して取り組んでいければよい。 ○龍野の今後の在り方としては部活動をより充実させていく。 ○生徒数が減っていけば、整理の必要も出てくるか。 ○教員の業務改善の視点を取り入れ、継続して取り組んでいく業務等を精選する。 ○部活動に関する生徒の充実度は高いが、こと勉強の両立の面では、不安を抱えている生徒が多いと思われる。 ○今後入学する生徒、昨今の大学入試の形態を考えると、部活動への加入率は上げられるような指導が必要である。	○非常に充実しているので、継続して取り組んでもらいたい。
		生18	4.2	A ↑	4.1	A			
		保18	4.4	A ↑	4.3	A			
19	本校の部活動は充実している。	教19	4.4	A ↓	4.5	A	○高い評価を得ており、今後も充実した内容で継続して取り組んでいくことが求められる。 ○部活動の選択肢の数が多いため、教員の負担はあるが、生徒の満足度は高い。ただし、保護者にとっては、部活動と勉強の両立に関して心配があるのではないと思われる。 ○入学時より部活動入部をはじめ、何でも挑戦してみようという声かけを行ってきた。非常に多くの生徒が部活動に入部し、豊かな人間関係を築いている。 ○生徒、教師ともに評価が高い。生徒会執行部の活躍している様子が、他の生徒たちにもよく見えている証左である。	○継続して取り組んでいければよい。 ○龍野の今後の在り方としては部活動をより充実させていく。 ○生徒数が減っていけば、整理の必要も出てくるか。 ○教員の業務改善の視点を取り入れ、継続して取り組んでいく業務等を精選する。 ○部活動に関する生徒の充実度は高いが、こと勉強の両立の面では、不安を抱えている生徒が多いと思われる。 ○今後入学する生徒、昨今の大学入試の形態を考えると、部活動への加入率は上げられるような指導が必要である。	○非常に充実しているので、継続して取り組んでもらいたい。
		生19	4.2	A	4.2	A			
		保19	4.6	A ↑	4.5	A			
20	生徒は様々な活動を通して、達成感を得たり仲間意識などを高めたりしている。	教20	4.3	A	4.3	A	○概ね良好といえる。	○継続して取り組んでいければよい。	○生徒・教員とも地域との交流を積極的に行い、地域から応援してもらえる学校になるとよい。
		生20	4.3	A	4.3	A			
		保20	4.5	A	4.5	A			
(12)	学校は、保護者や地域の期待に応えている。	保12	4.1	A ↑	4.0	A			

※網掛けは昨年の平均得点より0.2ポイント以上の差がある項目